

トランジション領域における出資枠の対象範囲拡大について

株式会社みずほ銀行（頭取：加藤 勝彦、以下「みずほ銀行」）は、2022年4月よりトランジション領域における出資枠（以下「本出資枠」）を設定し、その運用を行ってきましたが、このたび、お客さまの多様なニーズを踏まえ、その対象範囲を拡大しました。

本出資枠の設定以降、お客さまの2050年カーボンニュートラル実現に資する領域を「トランジション領域」とし、本出資枠の出資対象に位置づけ運用してきましたが、持続可能な社会への移行（トランジション）に向けたお客さまの挑戦は、気候変動対応のみならず、サステナビリティ分野全域における新たな技術開発やビジネスモデルの確立、新規市場の創出など、多岐に拡大しています。

かかる状況を踏まえ、お客さまのトランジションに向けた取り組みを全面的にサポートするために、環境・社会の持続性向上に資する領域を「トランジション領域」と再定義し、出資対象領域を拡大した上でその運用を継続しています。

みずほ銀行は、本出資枠により引続き不確実性の高いシード（技術の種）やアーリーステージ（初期段階）の段階から戦略的に出資することで、お客さまと機会とリスクを共有し、広く環境・社会の持続性向上に資する社会的価値をお客さまと共創していくことを目指します。

〈みずほ〉は、気候変動対応や脱炭素社会への移行など、持続可能な社会の実現に向けた取り組み（サステナビリティアクション）を強化しています。総合金融グループとしての知見を活かし、ファイナンスやコンサルティング機能を通じて、お客さまの企業価値向上や SDGs 達成に貢献していくとともに、多様なソリューションの開発・提供に積極的に取り組んでいきます。

（参考）当行におけるお客さまの事業支援のための投資等の枠組み

	トランジション投資	価値共創投資	SI*領域投資（資本性資金）
投資対象	環境・社会の持続性向上に資する先進的な技術・事業開発を担う事業会社（カーボンニュートラルの実現を含む）	新規事業会社（社会課題への対応や新規需要の創出、新たな事業モデルの実現等を目指すもの）	資本増強、事業構造転換、企業価値向上等を目指す事業会社（保有する資産（リアルアセット領域）を含む）
事業ステージ	開発・実証段階	商業化段階	—
主な投資形態	エクイティ（普通株式、種類株式）	エクイティ（普通株式、種類株式）	優先株、劣後ローン等のメザニン、及びエクイティ（匿名組合出資等）

*ストラテジック・インベストメント

※1 2022 年 4 月 26 日付プレスリリース「トランジション領域における出資枠の設定について」:

https://www.mizuho-bank.co.jp/release/pdf/20220426release_jp.pdf

以 上